



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 東海リース 株式会社

上場取引所 東

コード番号 9761 URL <http://www.tokai-lease.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 博亮

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 大西 泰史

TEL 06-6352-0001

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,777	2.4	9	17.1	3		55	
29年3月期第2四半期	6,616	2.9	7	97.4	5		63	

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 78百万円 (%) 29年3月期第2四半期 437百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	15.85	
29年3月期第2四半期	18.14	

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	32,230	15,329	46.1	4,270.52
29年3月期	31,552	15,583	47.8	4,335.73

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 14,849百万円 29年3月期 15,077百万円

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		5.00	9.00
30年3月期		3.00			
30年3月期(予想)				60.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は6円00銭となり、1株当たり年間配当金は9円00銭となります。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	5.5	620	69.7	560	56.0	340	119.1	97.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	3,494,322 株	29年3月期	3,494,322 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	17,211 株	29年3月期	16,840 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,477,302 株	29年3月期2Q	3,477,798 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「経営成績等の概況」をご覧ください。

2. 当社は、平成29年6月29日開催の第49回定時株主総会に株式併合について付議し、承認可決されたことにより、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しました。併せて同日付けで単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

- (1)平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金期末6円00銭
- (2)平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益通期9円78銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が継続し、個人消費にも改善の兆しが見られ、景気としては緩やかな回復基調となりました。しかしながら、海外においては、米国政権による政策運営への不安や英国のEU離脱問題、北朝鮮をはじめとする地政学的リスクなど、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

仮設建物リース業界におきましては、底堅い設備投資の下支えもあり堅調に推移しておりますが、建設業界全体における労働者不足が依然として続き、また、官公庁受注工事をはじめ契約単価に下落傾向が続くなど、予断を許さない状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、より一層のお得意先様満足を獲得すべく、仮設建物の質・量の向上に努め、また、従来、外注業者にて施工していた基礎工事に替えて弊社独自にシステム開発した基礎を投入し、原価の低減と工期の短縮の推進を図っています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,777百万円の前年同四半期比2.4%増となりましたが、従来、当社グループの売上は下期に集中する傾向があるため、通期売上予想に対する進捗は45.2%にとどまりました。一方、リース用資産減価償却費をはじめとする固定費は恒常的に発生するため、損益面につきましては、営業利益は9百万円（前年同四半期比17.1%増）、経常損失は3百万円（前年同四半期は経常損失5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は55百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失63百万円）となりました。

なお、セグメントごとの業績は、日本が売上高6,646百万円（前年同四半期比1.7%増）、中国が238百万円（前年同四半期比29.6%増、セグメント間取引消去後131百万円（前年同四半期比62.5%増））となりました。また、営業利益は日本が15百万円（前年同四半期比52.4%減）、中国が0百万円の営業損失（前年同四半期は8百万円の営業損失、セグメント間取引消去後は6百万円の営業損失（前年同四半期は25百万円の営業損失））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より678百万円増加し、32,230百万円となりました。理由の主なものは現金及び預金の増加587百万円であります。

負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より932百万円増加し、16,901百万円となりました。理由の主なものは仕入債務の増加364百万円及び借入金の増加536百万円であります。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より253百万円減少し、15,329百万円となりました。理由の主なものは配当金の支払173百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階におきましては、平成29年4月28日に発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまなリスク要因や不確実な要素により、現時点での予想を異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,186,493	1,774,288
受取手形及び売掛金	12,108,952	11,813,443
電子記録債権	378,578	469,211
商品及び製品	139,230	148,115
仕掛品	64,381	157,385
原材料及び貯蔵品	327,637	318,713
繰延税金資産	142,000	142,000
短期貸付金	620,490	627,264
その他	315,225	406,807
貸倒引当金	△49,943	△49,173
流動資産合計	15,233,046	15,808,056
固定資産		
有形固定資産		
リース用資産(純額)	7,733,953	7,931,126
建物及び構築物(純額)	2,258,741	2,190,776
土地	5,114,304	5,114,304
リース資産(純額)	418,847	384,709
建設仮勘定	2,200	395
その他(純額)	226,368	236,628
有形固定資産合計	15,754,414	15,857,941
無形固定資産	229,042	217,018
投資その他の資産		
投資有価証券	152,846	165,576
その他	183,045	182,271
投資その他の資産合計	335,892	347,847
固定資産合計	16,319,350	16,422,807
繰延資産	167	-
資産合計	31,552,564	32,230,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,066,287	2,296,055
電子記録債務	10,958	1,145,878
短期借入金	4,007,721	3,103,629
1年内償還予定の社債	80,000	40,000
リース債務	144,328	137,161
未払法人税等	117,463	83,224
前受リース収益	3,587,426	3,727,700
賞与引当金	265,277	235,868
役員賞与引当金	22,740	20,800
設備関係支払手形	148,865	51,554
その他	880,587	1,142,685
流動負債合計	12,331,655	11,984,557
固定負債		
長期借入金	2,724,600	4,165,600
リース債務	145,154	97,250
繰延税金負債	56,330	63,093
役員退職慰労引当金	78,000	84,200
退職給付に係る負債	206,658	147,673
その他	426,947	359,021
固定負債合計	3,637,690	4,916,837
負債合計	15,969,346	16,901,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,032,668	8,032,668
資本剰余金	5,637,764	5,664,939
利益剰余金	1,204,290	975,303
自己株式	△31,022	△31,809
株主資本合計	14,843,701	14,641,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,373	47,972
為替換算調整勘定	169,258	139,536
退職給付に係る調整累計額	25,089	20,460
その他の包括利益累計額合計	233,721	207,970
非支配株主持分	505,795	480,396
純資産合計	15,583,217	15,329,469
負債純資産合計	31,552,564	32,230,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,616,047	6,777,631
売上原価	5,476,785	5,662,030
売上総利益	1,139,261	1,115,600
販売費及び一般管理費	1,131,536	1,106,552
営業利益	7,724	9,047
営業外収益		
受取利息	5,939	17,956
為替差益	5,968	-
スクラップ売却益	4,779	6,774
受取保険金	-	2,833
その他	11,506	9,378
営業外収益合計	28,194	36,942
営業外費用		
支払利息	27,520	25,347
為替差損	-	357
支払手数料	13,285	23,522
その他	1,079	730
営業外費用合計	41,885	49,958
経常損失(△)	△5,966	△3,968
特別利益		
固定資産売却益	185	-
特別利益合計	185	-
特別損失		
固定資産除却損	6,758	7,556
固定資産売却損	-	27
関係会社出資金売却損	5,594	-
特別損失合計	12,352	7,583
税金等調整前四半期純損失(△)	△18,132	△11,552
法人税、住民税及び事業税	39,808	33,757
法人税等調整額	3,040	3,750
法人税等合計	42,848	37,507
四半期純損失(△)	△60,981	△49,059
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,119	6,053
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△63,101	△55,112

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△60,981	△49,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,415	8,612
為替換算調整勘定	△369,958	△33,511
退職給付に係る調整額	438	△4,629
その他の包括利益合計	△376,935	△29,528
四半期包括利益	△437,917	△78,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△407,581	△80,878
非支配株主に係る四半期包括利益	△30,336	2,290

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	6,535,408	80,638	6,616,047	—	6,616,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	103,707	103,747	△103,747	—
計	6,535,448	184,346	6,719,795	△103,747	6,616,047
セグメント利益又は損失(△)	32,879	△8,966	23,912	△16,187	7,724

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	6,646,600	131,031	6,777,631	—	6,777,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	107,808	107,878	△107,878	—
計	6,646,670	238,839	6,885,509	△107,878	6,777,631
セグメント利益又は損失(△)	15,663	△299	15,363	△6,316	9,047

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。